

手織ファッションショープロジェクト in 都留

織物ゼミ室 2017

1 限目 (6 月)

■ 講座

① 「郡内織物の概要」

今後講座を聞くに当たっての導入として、概要を説明します。郡内織物の特徴や歴史をお伝えします。

② 「商家資料館の案内ツアー」

商家資料館館長 武井邦夫さん

ここ商家資料館は、古くは織物の問屋さんとして栄えていた商家でした。現存する建物から織物のあった時代のようすを楽しむことができます。



■ 織物ゼミ室とは？

1年間かけて郡内織物を学んだり、手織で服を製作したりします。集大成として都留市商家資料館にてファッションショーを行い作品を披露する予定です。ゼミのように少人数で集まり、学びながら製作ができればと思っています。1年間を通した活動に参加せとも、講座や体験はどなたでも参加可能です。

【年間計画】

- * 6月25日 「商家資料館の案内」
武井邦夫さん (商家資料館館長)
- * 7月23日 「郡内織物の歴史」
知念浩生さん (元ミュージアム都留勤務)
- * 8月20日 「文学の中の郡内織物」
山口恭子さん (都留文科大学国文学科非常勤講師)
- * 9月24日 「織物ができるまで」
- * 10月22日 「織物工場で働いていた方のお話」
- * 11月26日 「養蚕農家の話」
- * 12月17日 「織物の今」
- * 1月21日 ファッションショー開催

■ 織物体験 WS コースター・ポケット

コースターやポケット製作を通して織り方をマスター！



■ WEAVE とは？

私たち都留文科大学社会学科の学生を中心としたグループは、山梨県郡内地方の伝統産業である「郡内織物」に興味を持ち、企業の見学や織物協同組合への訪問などの調査・研究活動を行って参りました。

この魅力あふれる郡内織物をもっと多くの人に知ってほしいとの思いから、現在は研究のみでなく PR 活動も行っています。都留市にとどまることなく、織物に携わる郡内の人々が一丸となって、織物文化を盛り上げていきたいと思っています。

次回

7月23日 (日)

10:30- 「郡内織物の歴史」 @商家資料館

13:00- 織物体験 @まちづくり交流センター

郡内織物に関する情報をお送りします

郡内織物に関するイベントやそれに伴うボランティア募集のお知らせをお送りしています。お知らせをご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。

itou.3113@gmail.com
090-5234-4188 (伊藤)

8月ゼミ室

活動内容

・「文学の中の郡内織物」講座（山口恭子さん） ・手織り洋服織り準備（清水寿子さん）

ようす

講座では、文学の中に出てくる郡内織物を取り上げてもらった。初心者が多いということを事前に山口先生にお伝えしていたところ、かなり噛み砕いた内容のものを教えてくださり、参加者のみなさんからも大変好評であった。

織物の方は、織るものが決まった人から順に、織る前の準備などを行うが、初めてのため時間は結構かかってしまうようだった。

参加者の声



知念浩生さんの講演会のようすと織物を検討しているようす

・今日の講座はとても面白く、楽しく聞くことができた。
・最初は糸入れの本数にちょっとひるみましたが、手助けしてもらい意外とすぐにできてホッとしました。糸を巻いていくことの方が地道と知りまたやってみないとわからないものだと思います。これで織っていけるので楽しみです。
・近世の文学を通じて郡内縞がいかに高級な織物であったかがわかりました。久しぶりに学生に戻れたようで楽しかったです。講師の山口先生の話

はとてもわかりやすく楽しかったです。
・郡内縞が良いものだったこと（口封じになったりするんだと笑）本の話の内容が刺激的だったり（心中とか火あぶりの刑とか）などおもしろい発見がたくさんありました。それをまたみなさんと感想を共有できて楽しかったです。みなさんと雑談しながら郡内織を広めたり楽しんだりできるイベント案をいろいろあげていけるといいですね。意外と雑談からいいもの生まれそう！

9月ゼミ室

活動内容

・現在の郡内織物 [天野商店訪問] ・手織り準備、織り始め



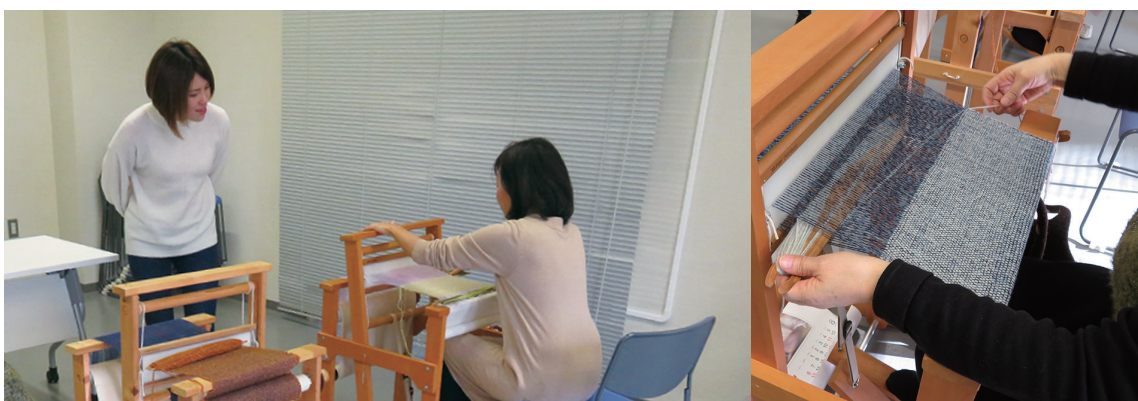
今回の講座は企業訪問で、ほぐし甲斐絹という傘を作る天野商店さんにお邪魔した。傘の製品を作る前の糸の色や本数を決めるデザイン部分の作業や、糸に先に色をつける作業などを見せてもらった。本物を実際に目にしたことで参加者の皆

さんの驚きも大きかったようだ。こういった機会がなければ入れない場所なので、とても貴重な経験だと喜んでくださった。織物はある程度準備ができ、単調に織り出す作業の段階に入った。

11月ゼミ室

活動内容

・現在の織物産業の取り組み (秋本 梨恵さん) ・手織り作業



講座では現代の織物産業についてお話を伺った。織物業が衰退していく中、富士吉田市では取り組みが盛んに行われている。その仕組みや努力をお聞きした。内容に難しいところもあったが、

富士吉田市の取り組みを聞いて刺激を受けているようすが伺えた。織物の作業の方は手馴れてきていて、とにかく作業を進めるという段階に入ってきた。